

平成26年10月3日

小学校6年生児童の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 岡部 吉則

平成26年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月22日（火）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年8月末に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも9月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち児童が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から児童への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。今年度から、苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行わないとの考えが示されました。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

平成26年4月22日（火）

(2) 調査対象

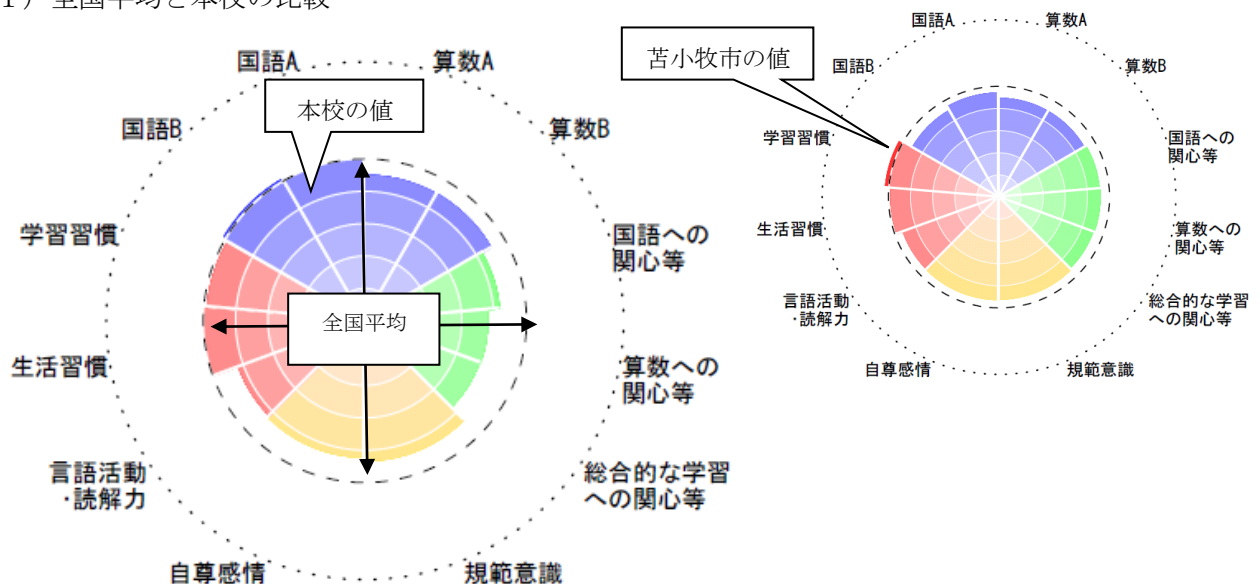
小学校第6学年（市内全小学校で実施）

(3) 検査内容等

- ① 教科に関する調査は、国語、算数の2教科が出題され、主として「知識」に関するA問題と、主として「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関するB問題が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する児童質問紙調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

2 本校の結果と考察

(1) 全国平均と本校の比較



(2) 国語科

国語A

- ・国語Aにおいては、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・国語Aの正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が薄く、上位層、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・「漢字を読む」「漢字を書く」設問において、平均正答率が全国平均を下回っている。

国語B

- ・国語Bにおいては、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・国語Bの正答数の分布では、中位層が厚い。
- ・「○字以内」に書く問題については、取り組んだ成果が見られるが、考え方を記述する問題に課題が見られる。

(3) 算数科

算数A

- ・算数Aにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・算数Aの正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。「数と計算」、「数量関係」で正答率が低い。

算数B

- ・算数Bにおいては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・算数Bの正答数分布では、中位層、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・数量関係を正しく図で表したものを選ぶ問題で正答率が低い。
- ・考え方を記述する問題で正答率が低い。

(4) 児童質問紙

学校生活

- ・「学校のきまりを守っている」と答える児童は全国平均より多い。
- ・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う児童が全国平均より多い。

家庭生活

- ・「朝食をとる、早寝早起きができています」と答える児童は全国平均と比べ同等である。
- ・テレビやビデオを3時間以上見ている児童が全国平均よりかなり多い。

3 学校の今後の取組について

- ◆国語科の学習では、授業以外の時間も活用し書く活動を通して自分なりの考えや思いをまとめ、説明できるようにする。
- ◆算数科の学習では、習熟の時間を増やす、少人数や習熟度別指導を取り入れるなど指導方法の工夫改善を図る。
- ◆家庭学習強化週間やさわやかリズム週間の取組により、自学を中心とする家庭学習や望ましい生活習慣が身に付くようにする。

第5学年の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 岡部 吉則

平成26年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月22日（火）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

平成26年4月22日（火）

(2) 調査対象

市内小学校第5学年

(3) 検査内容等

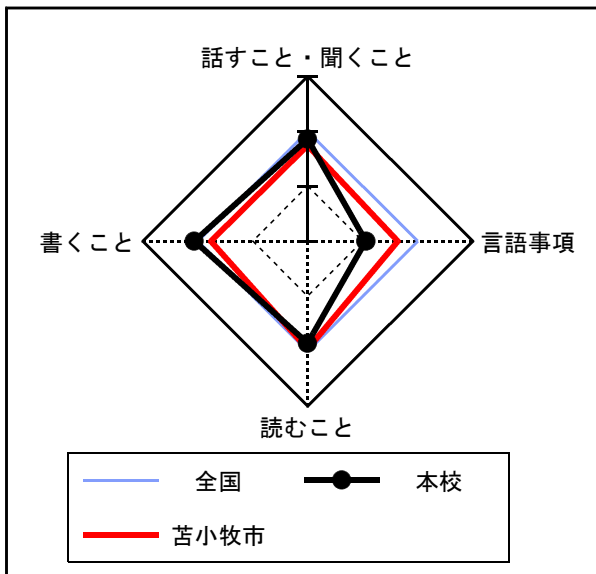
- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 全国学力調査（集団準拠評価）を実施

2 本校の結果と考察

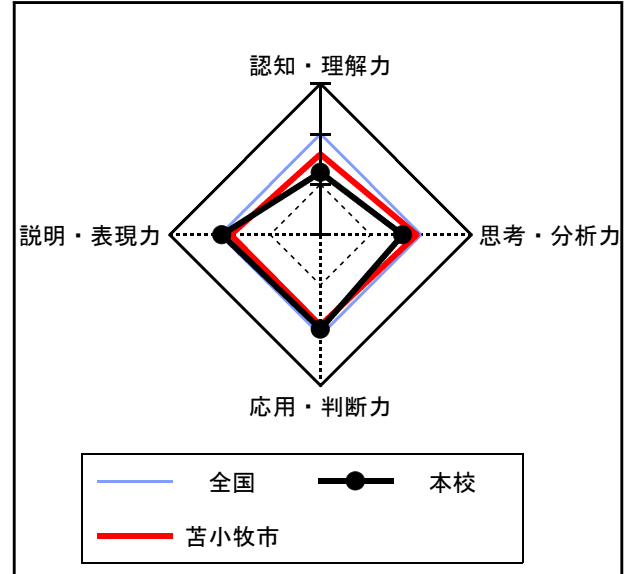
(1) 国語科

①領域別（※1）及び能力別（※2）の偏差値SS（※3）における全国との比較

【領域別】

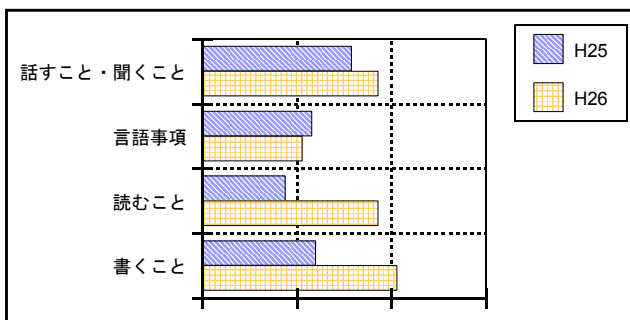


【能力別】

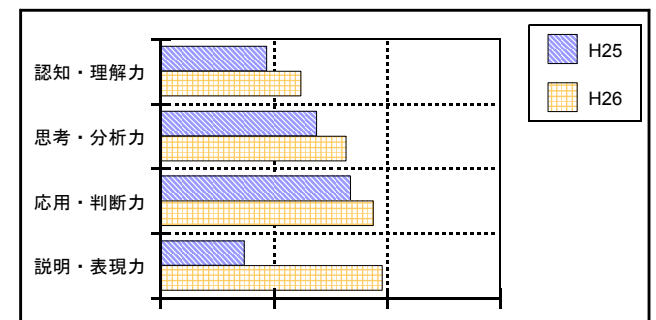


②昨年度（同一集団である平成25年度小学校4年時）との比較

【領域別】



【能力別】



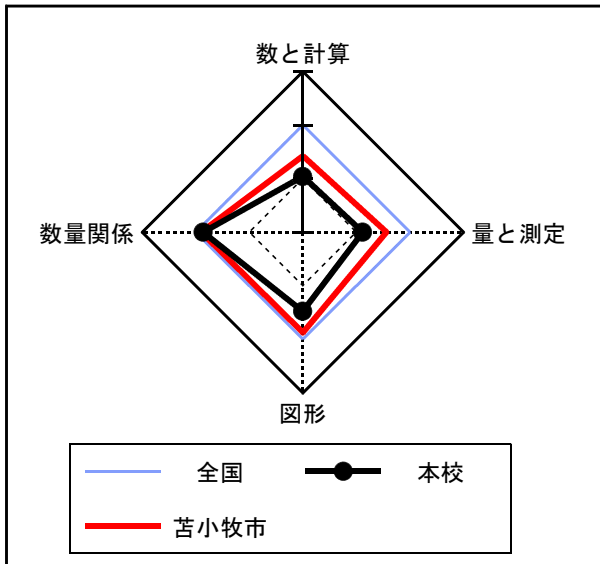
③考察

- ◎ 5年生国語を見ると、全国とほぼ同程度で、良好な状況です。ただ、基礎に課題がある。
- ◎ 問題の内容は、「漢字の書き」と「語句・文法に関する知識」に課題がある。
- ◎ 領域「言語事項」、能力「認知・理解力」に課題がある。
- ◆ 今後、学習規律の徹底を進める中で、既習学習の定着や自学自習のプリント等を活用し、基礎基本の確実な定着を図る。

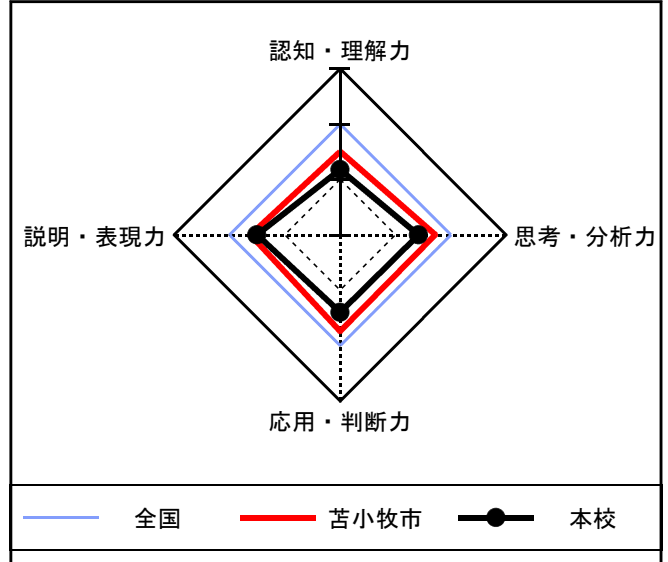
(2) 算数科

①領域別(※2)及び能力別(※3)の偏差値SS(※1)における全国との比較

【領域別】

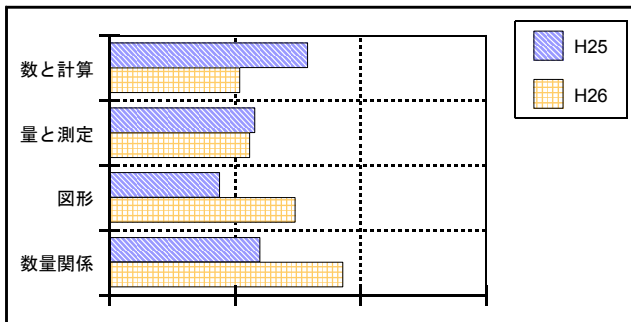


【能力別】

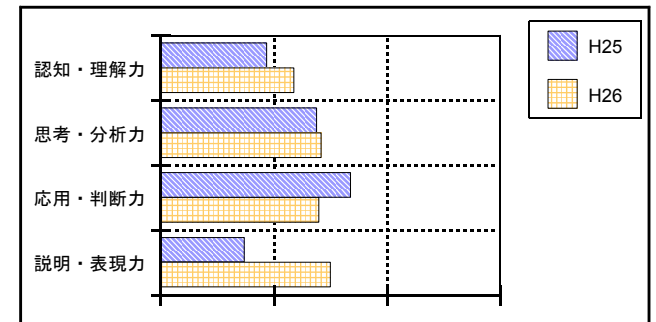


②昨年度(同一集団である平成25年度小学校4年時)との比較

【領域別】



【能力別】



③考察

- ◎ 5年生算数を見ると、全国を下回り、「小数」と「分数」に課題がある。
- ◎ 領域「数と計算」、能力「認知・理解力」に課題がある。
- ◆ 今後、個別指導・少人数指導・習熟度別学習指導などにより、個に応じた学習指導を進める。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとまり(話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと)に基づいた学力
【算数】学習指導要領が示す学習内容のまとまり(数と計算・量と測定・図形・数量関係)に基づいた学力

※2 目標標準評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

- 認知理解力：児童がもっている知識(情報)量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力
- 思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力
- 応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力
- 説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値

第4学年の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 岡部 吉則

平成26年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月22日（火）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

平成26年4月22日（火）

(2) 調査対象

市内小学校第4学年

(3) 検査内容等

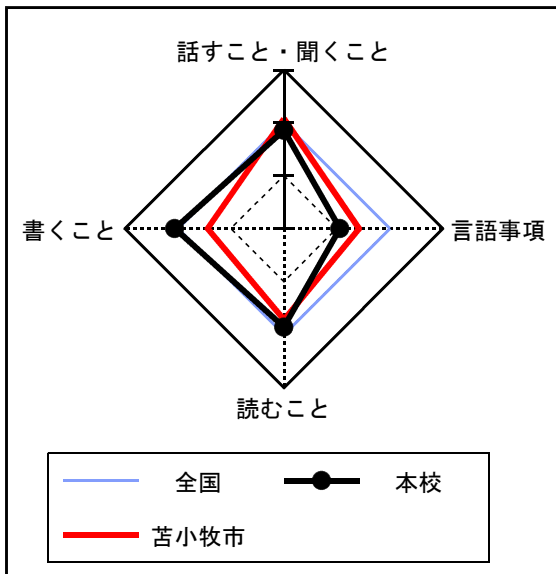
- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 全国学力調査（集団準拠評価）を実施

2 本校の結果と考察

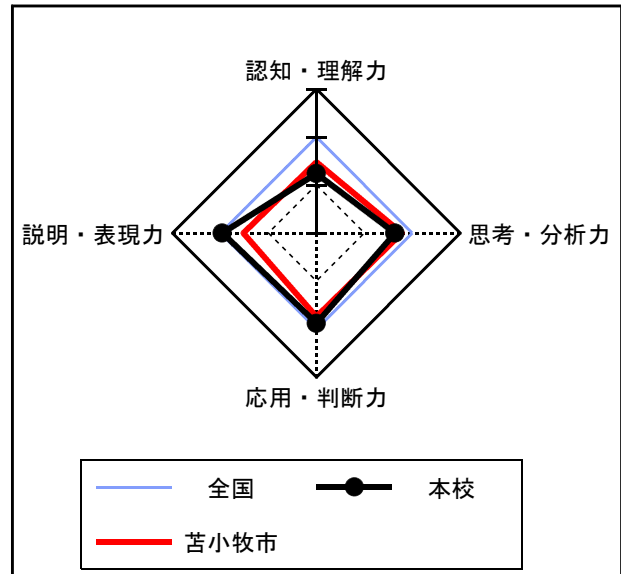
(1) 国語科

①領域別（※1）及び能力別（※2）の偏差値SS（※3）における全国・苫小牧市平均との比較

【領域別】



【能力別】



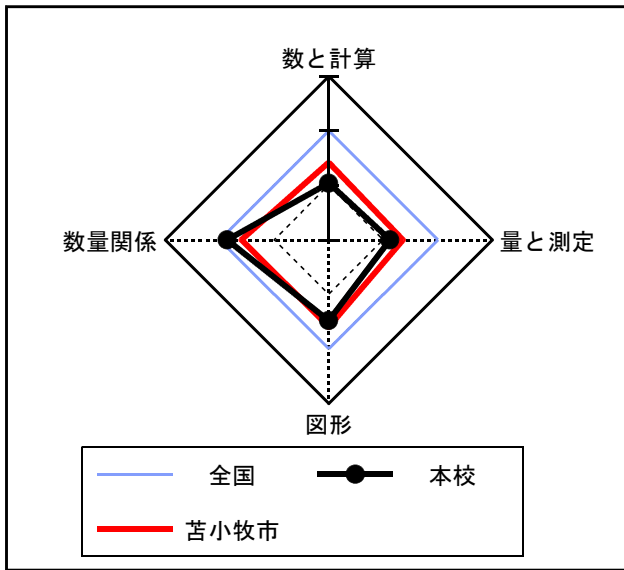
②考察

- ◎ 4年生国語を見ると、全国とほぼ同程度で、良好な状況です。
- ◆ 今後、子ども一人一人が自分の考えをしっかりともち、話の聞き方や発表の仕方が身に付くようにする。
- ◆ 学習規律の徹底をすすめる中で、基礎基本の確実な定着を図る。

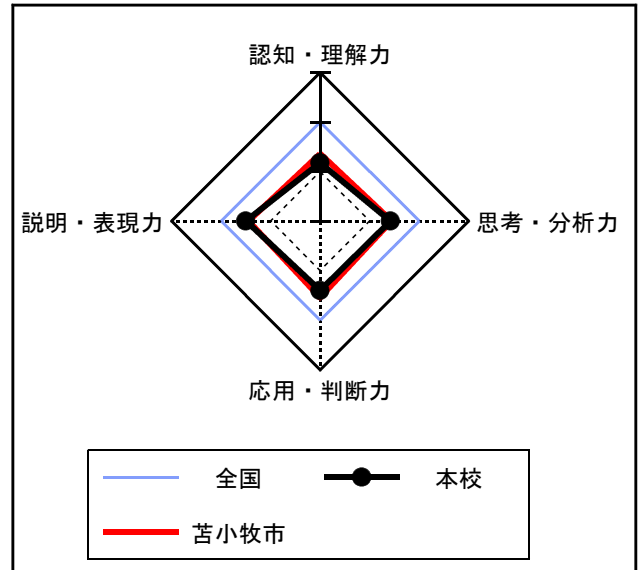
(2) 算数科

①領域別(※1)及び能力別(※2)の偏差値SS(※3)における全国との比較

【領域別】



【能力別】



②考察

- ◎ 4年生算数を見ると、全国を下回り、課題がある。
- ◎ 問題の内容は、「たし算・ひき算」と「わり算」に課題がある。
- ◎ 領域「数と計算」、能力「応用・判断力」に課題がある。
- ◆ 今後、習熟の時間を増やし、計算力がしっかり定着するようにする。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとまり(話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと)に基づいた学力

【算数】学習指導要領が示す学習内容のまとまり(数と計算・量と測定・図形・数量関係)に基づいた学力

※2 目標評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

○認知理解力：児童が持っている知識(情報)量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力

○思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力

○応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力

○説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値